

今週のメニュー

[トピックス](#)

逗子市民交流センターで講演会

- 「これからの社会の在り方を考える会」主催 -

[随想](#)

軟質塩ビフィルムについて(1)

日本ビニル工業会 業務部長 鈴木 環

[編集後記](#)

トピックス

逗子市民交流センターで講演会

- 「これからの社会の在り方を考える会」主催 -

昨年の12月に開催されたエコプロダクツ展で、当協会のブースに立寄られた尾崎さんにお声を掛けたことが縁でお知り合いになりました。尾崎夫妻は逗子で市民の会を主催されている方で、当協会の出前授業や一般消費者への啓蒙活動に興味を持たれ、講演を頼まれました。

どのような活動をされているか？お誘いを受けて、1月16日の講演会に参加し、元フィジー大使で社団法人太平洋諸島地域研究所の飯野理事のお話を聞く機会を得ました。演題は「日本にとっての太平洋島嶼諸国」で、日本にとってのこの地域の重要性を説明され、ご自身の経験を交えて話された内容は貴重なものでした。講演後に記念のスナップ写真撮影が行われ、次回の講演者として紹介されました。



1月16日 講演参加者

いよいよ、3月20日に、同じ逗子市民交流センターで「次世代に何を残せるか？ - 環境問題を通して -」の演題で意見交換も含めて2時間の講演を行いました。参加された方は、地元の教育やスポーツ振興に関連して長く活動されている方や、県会議員、市会議員の方も居られました。

初めに塩ビの歴史とプラスチックの中での塩ビの特徴を説明し、社会活動として行っている出前授業や市民の環境展示会への参加などを通じて得られた貴重な体験談をお話ししました。個人的な経験として、海外での経験や逗子・鎌倉での思い出もお話ししました。いろいろな思いを詰めたオムニバスの話題になり、少しまとまりのない話になりましたが、日頃から関心の高いテーマだった様子で、熱心にお聞き頂き、活発な意見交換が出来ました。



3月20日 講演会

「次世代に何を残せるか？」と自問自答するこの頃ですが、押し付けでない人材育成の大切さを感じる事が多く、ものづくりの面白さの伝承、現場感覚の重要性、世代を超えた新たな価値観の創出、違いを超えた新たなネットワーク作り等をどのように伝えて行くかが問われています。塩ビ産業もまだまだ厳しい状況が続いていますが、塩ビに関わる人々が塩ビの将来に自信を持って次代に伝えることが出来るように働きかけていくとともに、塩ビがこれまで以上に社会に役立つように考えて行くことが大切だと思います。そのためにも、塩ビ業界の中での連携を積極的に行うとともに、市民団体の活動にも積極的に参加し、一般社会の価値観とも整合した価値作りに拘り、社会貢献に励んでいく必要を感じています。

出会いの縁を大切に、地域を愛し、自然を愛し、塩ビを愛して行きたいと思っています。生まれ育った逗子・鎌倉で、恩返しに小学校での出前授業が出来ることを願い、今後も、このような市民活動に積極的に協力して行こうと考えています。最後に、このような機会を頂いた尾崎様ご夫妻に感謝しています。(了)

随想

軟質塩ビフィルムについて(1)

日本ビニル工業会 業務部長 鈴木 環

ビニル工業会で取り扱っている汎用製品である「軟質塩ビフィルム」について、1回目は概要、歴史、特長について 2回目は配合、製造技術、3回目は印刷、エンボス、高周波溶着について、3回に亘りご紹介致します。

1. 概要

軟質塩ビフィルムはもともと、袋用(ハンドバッグ)や衣料用として、昭和24年頃より製造され当時は圧延シートをステンレス磨板に挟み、加熱プレスしてしば付け(型付け)を行っていました。

その後、エンボス機の発達とともに、連続したエンボスロールによる型付けにより、軟質塩ビシートが大量生産され、世の中に出回るようになりました。

その後、ハンドバッグ素材として、合成皮革、天然皮革が使用されるようになり、塩ビシートはハンドバッグから小物バッグ、ケース、靴、文房具などに用途が広がりました。

現在では軟質塩ビフィルムは他のプラスチックフィルムにはない優れた特長(3項に記述)を生かしたいろいろな分野に幅広く使用され、生活に密着した欠かせない素材となっています。

また、軟質塩ビフィルムは印刷加工、エンボス加工、表面処理、接着加工、等用途に応じた加工や処理が可能であるため、多種多様に加工、印刷されて、身近な商品やフィルム素材として使用されています。



2. 歴史

わが国において、軟質塩ビフィルムが製造されたのは、昭和24年頃で、ゴム加工業者である長浜ゴム工業(株)、川口ゴム工業(株)、興国化学工業(株)(現:アキレス(株))等が輸入塩ビスクラップを2~3本ロール型のゴムカレンダーを使用して、圧延加工したのがスタートとされています。

昭和25年には鐘淵化学工業(株)、三井化学(株)、日本化成(株)(現三菱化学(株))などが、米英から輸入した樹脂を原料として、レインコートなどの衣料用塩ビフィルムを工場生産始めました。

その後、ドイツ製エンボス機が日本に輸入され、連続しぼ付けしたシートが製造され、ハンドバッグ等の袋用として大量生産されました。

昭和30年頃から軟質塩ビシートはカレンダー法、T-ダイ押出法と成膜方法が各種製品に実用化され、大量生産されるようになり、文房具用、家具装飾用、建材用、工業用、玩具用、雑貨用と製品用途が多方面に広がりました。



3. 特長

軟質塩ビフィルムの特長は、主に塩ビ樹脂の特性に起因するもので、使用用途が多い理由は以下のような特長を有する事にあります。

透明性が良い

透明性と艶に優れていますので、透明性が求められる商品に最適です。

ケースや包装用にも幅広く使用され、商品の保護や価値を高める役割を果たしています。

(用途例) デスクマット、テーブルカバー、定期入れ、書類入れ、窓張り、文具ケース、アルバム、窓(幌、テント、帆等)、間仕切り、書類カバー、包装用等

着色が自由

着色剤の添加により、フィルムの着色が自由にできます。

鮮やかな色、くすんだ色、明るい色、暗い色、あるいは色の濃いものや淡いもの、透明、不透明のものまで、ご希望に応じた着色ができます。

(用途例) カバー(事務機、家庭器具、自転車等)、レインコート、天幕、空気入り玩具、装飾・宣伝用(アドバルーン、旗、垂れ幕、のれん、ステッカー) サングラス、スリッパ、筆入れ、粘着テープ等

硬質~軟質まで、硬さ・風合いが自由です。

可塑剤の添加量により、フィルムの固さや風合いを用途に合わせて、柔らかくしなやかなものから硬いものまで、広範囲に作れます。

(用途例) 硬い.....クレジットカード、キャビネット用、トランプ、ステッカー等
軟らかい...雨衣、ベビーパンツ、玩具、絆創膏等

印刷性が優れています。

塩ビフィルムは他のプラスチックに比べ、印刷性が優れ、容易に印刷が可能です。

カラフルな色やデザイン処理が求められる商品に適しています。



特殊な前処理なしで、グラビア、オフセット、スクリーンなどの印刷ができます。
(用途例) テーブルクロス、かさ、洋服ロッカー、キャビネット用、合板、風呂板、アコーディオンカーテン、壁紙等

接着加工性が優れています。
プラスチックを接着させるにはさまざまな接着方法があります。

塩ビフィルムは高周波ウエルダー加工という他のプラスチックにはできない方法が可能です。
この方法は作業の効率が良く、美しく仕上がるため、デザインを強調する商品には最適です。

(用途例) 空気入り玩具(ビーチボール、浮き輪、人形、プール)、レインコート、かさ、ケース(文具、工具等)



エンボス処理(凹凸)が可能です。
木目、革、布模様をはじめ、艶出し、艶消し、幾何学模様などエンボッシングにより表面模様を自由にデザインできます。

(用途例) 表紙、文具、アコーディオンカーテン、ガラスフィルム、壁紙等

用途に合わせた機能を付与できます
塩ビは配合剤により、耐油性、耐薬品性、耐候性、耐熱性、導電性、絶縁性など用途に即した性能を付与させ、商品価値を高めます。

(用途例) 血液バッグ、レントゲンプロテクター、機具カバー(非移行)、テント(耐候)、養生用シート(難燃)、オイルフェンス(耐油)等

編集後記

ディスカバリーで国際宇宙センターに飛び立ち、野口さんと一緒に宇宙で活躍されている山崎さんのニュースがテレビや新聞で取り上げられています。ヒューストンで見かけたことのある宇宙飛行士の方々が素晴らしい仕事をされていることにとっても感銘しています。塩ビ関連の仕事でも、本場アメリカをはじめ海外で活躍されている方がたくさんおられます。日本の優れた技術力と世界に誇れるもの作りの文化を広めて、世界をリードしていることは素晴らしいことです。日本でも少しずつ塩ビの明るい話題が出てくるようになりました。塩ビに誇りを持って、もうひと踏ん張りやって見ようではありませんか。山崎さんの座右の銘「道程」にならって、新たな道を作りましょう！(円行)

関連リンク

[メールマガジンバックナンバー](#)、[メールマガジン登録](#)、[メールマガジン解除](#)



編集責任者 事務局長 東 幸次

東京都中央区新川 1-4-1

TEL 03-3297-5601 FAX 03-3297-5783

URL <http://www.vec.gr.jp> E-MAIL info@vec.gr.jp